

Enjoy!

～感性を磨く、感動を見つける～

Arts & Entertainment

ほんの少しの好奇心と最初の一步を踏み出す勇気—
扉の向こうにあなたの知らない素敵な世界が広がります

秘密がいっぱい!! オーケストラの魅力

クラシック音楽の醍醐味は、何といっても最大規模の演奏形態であるオーケストラだ。指揮者のタクトに導かれ、数種類もの楽器の音がひとつの音楽となって紡がれていく。その圧倒的な迫力は、コンサートホールをドラマチックな空間に変えてしまう。オーケストラの秘密をもっと知れば、その魅力はぐんと広がるだろう。さあ、すばらしきオーケストラの音楽と一緒に体感してみよう!!

写真は日本センチュリー交響楽団(指揮は飯森範宏)。
9月27日には小泉和裕、12月23日には沼沢竜典を
迎えてびわ湖ホールで公演を行う。 ©o.yamamoto

club keibun 6
2015 JUNE vol.393

Contents

- Enjoy! Arts & Entertainment
- 01 秘密がいっぱい!
オーケストラの魅力
- 06 Recommended Files 今月のオススメ
セトレ マリーナびわ湖 守山市
- 07 WALK ON 伝説と歴史の舞台を歩く
蟹が坂 甲賀市
- KEIBUN友の会会員特典のご案内
- 08 イベント/シネマ/アート/スポーツ/ゴルフ/
旅行/レジャー/健康/カルチャー/グルメ
- 25 プレゼント/Reader's Letters

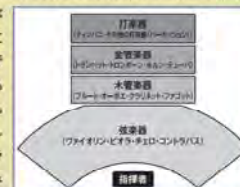
●表紙 [Amazing! Museum～感動空間への招待編]
ピナコテーク・デア・モデルネ(ドイツ)

2002年ミュンヘンに誕生したアートの宝庫。近現代美術の美術館としてはヨーロッパ最大規模を誇る。展示は現代美術、グラフィックアート、建築、デザインの4分野。身近な自動車や家電などのデザインの流れがわかるのも楽しい。

Universe On Stage

オーケストラという宇宙 楽器の配置を知っておこう

さまざまな楽器で編成されるオーケストラ。主に弦楽器、木管楽器、金管楽器、打楽器で構成されている。左の写真のように、ステージ上では指揮者を中心に弦楽器群が左右に広がって扇型に並び、その奥に木管楽器、金管楽器、最後列に打楽器と並ぶのが一般的だ。時には指揮者の意図で独自の配置にする場合もある。これも生のコンサートでしか味わえないクラシック音楽の楽しみのひとつだ。



現代の一般的な楽器の配置

秘密がいっぱい!! オーケストラの魅力

関西主要オケのイチオシ公演(50音順)

楽団創立35周年

大阪交響楽団

いずみホール名曲セレクション2015

9/17(木) 昼の部14:30開演 夜の部19:00開演

いずみホール 指揮:寺岡清高

曲目/ドヴォルザーク:交響曲第9番「新世界より」他

☎ 大阪交響楽団 072-226-5522

朝比奈隆の志を受け継ぐ老舗オケ

大阪フィルハーモニー交響楽団

マチネ・シンフォニーVol.13 指揮:井上道義

7/14(火) 14:00開演 ザ・シンフォニーホール

ギター:莊村清志、福田進一、村治奏一、大萩康司

曲目/ロドリゴ:アンダルシア協奏曲 他

☎ 大阪フィル・チケットセンター 06-6656-4890

初の海外公演でさらなる飛躍!!

関西フィルハーモニー管弦楽団

Meet the Classic Vol.31 指揮:藤岡幸夫

壮大!華麗!真夏に轟く圧倒的オーケストラ・サウンド

8/11(火) 19:00開演 いずみホール

曲目/シベリウス:交響曲第1番ホ短調作品39 他

☎ 関西フィルハーモニー管弦楽団 06-6577-1381

千年の都に響く感動のシンフォニー

京都市交響楽団

第591回定期演奏会 指揮:小泉和裕

6/26(金) 19:00開演 京都コンサートホール(大)

曲目/シューマン:ピアノ協奏曲イ短調op.54、ブルックナー:交響曲第4番変ホ長調「ロマンティック」

☎ 京都コンサートホール 075-711-3231

飯森範親のもとで果敢にチャレンジ

日本センチュリー交響楽団

第201回定期演奏会 指揮:アラン・プリバエフ

6/19(金) 19:00開演・20(土) 15:00開演

ザ・シンフォニーホール 曲目/ムソルグスキー(ラヴェル編曲):組曲「展覧会の絵」他

☎ センチュリー・チケットサービス 06-6868-0591

佐渡裕率いる未来系オーケストラ!

兵庫芸術文化センター管弦楽団

第80回定期演奏会 指揮:ユベール・スターン

6/19(金)・20(土)・21(日)各15:00開演

兵庫県立芸術文化センターKOBELCO(大)

曲目/シューマン:交響曲第2番ハ長調op.61 他

☎ 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255

※1 フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット ※2 第1ヴァイオリン、第2ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスの5部

規模が大きくなればなるほど、オーケストラを率いる指揮者の存在は大きい。

指揮者&コンマス オーケストラの 連携に注目してみよう

Step3 オーケストラの現場

オーケストラの定型が完成したといわれているが、時代とともに作曲家の表現に対する情熱は高まり、聴衆の欲求もあつてオケは拡大化。特にマーラーの「交響曲第6番」などの作品は4管以上の大編成が多く、迫力満点のサウンドが観客を圧倒する。また、チャイコフスキーの「1812年」のエンディングには大砲が鳴る演出も。体中に響き渡る音楽を体感しよう!

指揮者が自分の理想とする音楽に近づけるために、楽譜にこめられた作曲者のメッセージを解釈し、それをメンバーに伝えなければならない。リハーサルでは言葉で説明もできるが、本番になれば、テンポ、リズム、音の強弱など、微細なニュアンスを全身で表現する。そのエネルギーがオーケストラの隅々まで包み込んでいく。ここで指揮者の意図を理解し、オーケストラをひとつの方向に向かわせるのが、コンサート・マスター(略してコンマス。女性の場合)はコンサート・ミストレスともいう)の役割だ。主に第一ヴァイオリンの首席奏者が務め、演奏中は細かいタイミンクの調整などを先頭に立てて行い、それが各パートの首席奏者にも伝達され、大人数の個々の奏者がひとつの楽器のようにまとまていく。

この夏から秋にかけて恒例のリラックスコンサートが滋賀県内の3会場で開催される。長浜・野洲公演では本番前のウェルカム・コンサートが好評で、オケと市民がふれあえる滋養ならではの光景だ。さあ、この機会に実際にコンサートホールに足を運んでみよう。本番前の観客のざわめきと独特の緊張感は格別。オケの登場で、期待感とともにその空気は張り詰めていく。

コンサートデビュー 素直に感動したら 惜しめない拍手を!!

Step4 演奏会に出かけよう

ラの生の演奏を聴くと、音楽の感じ方もまた一味違ってくるだろう。

指揮者が指揮台にのぼると、いよいよ演奏の本番。ここで初心者が悩むのが拍手のタイミングだろう。交響曲などいくつかの楽章で構成されている場合、各楽章の終わりで拍手が起こることもあるが、原則は全楽章(全曲)が終わってから拍手が一般的だろう。すべての演奏が終わって素直に感動したら、指揮者が指揮棒をおろすのを待つて曲が終わった後の余韻を楽しもう。聴き終えた音楽が体中にしみわたる時間を楽しんだ後、「ブラボー!」の掛け声と惜しめない拍手を送ろう!

また、公演前後には指揮者やソリストのトーク解説やサイン会が行われることも。演奏中には見られないアーティストの表情やお話を聞けるチャンスだ。人となりを知るとまた演奏を聴いてみたいと思うはず。積極的に参加してみよう!!



情熱的な指揮で聴衆に感動を届ける関西フィルハーモニー管弦楽団の首席指揮者・藤岡幸夫。 ©HIKAWA

Step1 オーケストラって何?

個性的な楽器群が 美しく溶け合う 一期一会の音楽!!

ステージの上で繰り広げられる華麗で壮大なシンフォニー。ひとつひとつの楽器には個性があり、それらが融合すると、時には美しく、時には激しく響き合うハーモニーになる。指揮者が手にするタクトはまるで魔法の杖のようだ。

同じ曲でも、オーケストラが変われば音楽の表情がまったく違う。同じオーケストラでも、ホールによって、また指揮者によって演奏が異なる。コンサートはまさに二度とない一期一会の芸術である。

日本のオーケストラはレベルが高い。プロはほとんどが常設だが、一つのコンサートのためだけに編成されるプロデュース

制のオケもある。オーケストラ・ムジカ・チエレステもその一つ。指揮を務める篠崎靖男が関西を中心に活躍する演奏家に声をかけたのがきっかけで結成された日野町のオーケストラだ。2年に1度のこのコンサートでしか聴けない音楽を聴かせてくれる。このように地方には、おらが町のオケもあり、全国どこでもオーケストラの演奏が楽しめるようになったのは幸せなことだ。

Step2 オーケストラの編成

進化するオーケストラ 時代によって異なる 演奏のスタイル

オーケストラの編成は、演奏する楽曲によってパートの数やそれぞれの人数が異なる。これは作曲された時代によって演奏のスタイルが違うためで、その当時の作曲家が楽譜に使用する楽器の種類や数を指定しているからだ。

編成の規模は木管楽器の数によって決まる。木管楽器各2本の2管編成が標準で、3管、4管の編成になるとその音量とバランスが取れるように弦楽器の数が増える。2管で60名、3管で90名程度、4管になると総勢100名を超える。

ベートーヴェンに代表されるスケールの大きな交響曲の登場で、現在のような

オーケストラの創造と奇跡! 音楽は感動のドラマになる!!



レオ・シュブススキー (指揮)

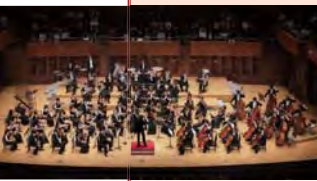


南千勢子 (ピアノ)

この秋、来日公演を行うチェコ国立ブルノフィルハーモニー管弦楽団。湖国を代表するピアニスト南千勢子とびわ湖ホールにて共演(11月14日)



すばらしきオーケストラの世界へ、あなたを誘います。



今年も暑い夏がやってくる!
8月~10月の毎月第1日曜日は「リラックス」へ行こう!!

関西フィルハーモニー管弦楽団 リラックスコンサート2015

●指揮: 藤岡幸夫(関西フィル首席指揮者)

●KEIBUN友の会ねっとも優先 6/15(月)9:30~

●KEIBUN友の会電話優先 6/17(水)9:30~ ●一般発売 6/20(土)



©SHIN YAMAGISHI

長浜公演

4823 8月2日(日) 17:00開演

●会場/長浜文化芸術会館
●一般4,000円

Program

♪ウエルカム・コンサート16:20~

●アンダーソン: 舞踏会の美女
あの名シーンをもう一度

●「ロミオとジュリエット」
●「雨に唄えば」
●「エデンの東」
●「ベニスに死す」(マーラー: 交響曲第5番より第4楽章アダージェット)
●「タイハード2」(シベリウス: 交響詩「フィンランディア」)

「運命の主題」が全曲を支配する
チャイコフスキーの傑作交響曲
チャイコフスキー:
交響曲第4番へ短調op.36

野洲公演

4826 9月6日(日) 15:00開演

●会場/野洲文化ホール
●ピアノ: リード希亜奈
●SS席4,000円 一般3,500円
親子席1,500円

Program

♪ウエルカム・コンサート14:20~

夏の名曲をフルオーケストラで
日本の夏メドレー(川上肇)

今春の関西フィル初のヨーロッパ公演で
絶賛を博した曲を野洲でふたたび
モーツァルト: 交響曲第29番イ長調
野洲出身、期待のピアニストが登場!
ラフマニノフ:
ピアノ協奏曲第2番ハ短調op.18 他

高島公演

4829 10月4日(日) 15:00開演

●会場/高島市・ガリバーホール
●一般3,500円 バルコニー席3,000円
学生(一般席のみ)2,000円

Program

クラシック&銀幕の名曲を
極上のストリングスで

●ヴィヴァルディ: 四季より
●J.S.バッハ: G線上のアリア
●オリーブの首飾り ●シエルプールの雨傘
●映画「プラトーン」より
(バーバー: 弦楽のためのアダージェット)
●風と共に去りぬ ●「タイタニック」メドレー

弦楽合奏曲の最高峰を
日本有数の音響でたっぷり
チャイコフスキー:
弦楽セレナード ハ長調op.48

※未就学児のご入場はお断りいたします(野洲公演親子席をのぞく)。※出演者、曲目、曲順等やむを得ない事情により変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

チェコの名門オーケストラが再来日!
情熱のマエストロが創造する「新世界より」!!

チェコ国立ブルノ・ フィルハーモニー管弦楽団

4781 11月14日(土) 14:00開演



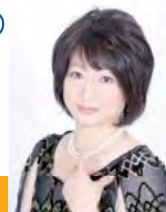
●会場/びわ湖ホール大ホール
●S席10,000円 A席8,000円
B席6,000円 C席4,000円

指揮: レオシュ・スワロフスキー
ピアノ: 南千勢子

Program

スメタナ: 連作交響詩「わが祖国」より「モルダウ」
チャイコフスキー: ピアノ協奏曲 第1番 変ロ短調 作品23
ドヴォルザーク: 交響曲 第9番 ホ短調 作品95「新世界より」

●KEIBUN友の会ねっとも優先 6/10(水)
●KEIBUN友の会電話優先 6/11(木)
●一般発売 6/14(日)



ここでの演奏会のためだけに集結した
音楽家たちによる、夢のオーケストラ!

オーケストラ・ムジカ・チェレステ演奏会



4691 7月5日(日) 14:00開演

●会場/日野町民会館わたむきホール虹
●一般3,800円

指揮: 篠崎靖男 ヴァイオリン: 鈴木舞
コンサートマスター: 高木和弘

Program

コーブランド: 静かな都市
メンデルスゾーン: ヴァイオリン協奏曲
ホ短調 op.64
ベートーヴェン: 交響曲 第6番
へ長調 op.68「田園」

♪特別講座「ベートーヴェンの交響曲」開講(公演当日)
♪開演前に地元演奏家によるロビーコンサートを開催します。



©Kei Uesugi



Talking About
Orchestra

関西フィル・メンバーが語る
オーケストラの愉快な世界

チェロ 大町 剛さん トランペット 川上 肇さん 第2ヴァイオリン 藤原利佳さん

大町 ●お客さまから「演奏中、どこを見て
いるんですか」とよく質問されませんか?
川上 ●そうそう、「指揮者をあまり見てい
るような感じがけど、それなら指揮棒を
振る意味はあるの?」とか。
大町 ●私は指揮棒だけでなく指揮者の表
情を見えています。怒っているか楽しんでい
るかは顔に出てくるので。
藤原 ●指揮者や楽譜、他の演奏者の動き
が一体になって視界に入っていないとね。
川上 ●車の運転に例えると、指揮者の存
在はバックミラーみたいなもの。見ていない
といけないけれど、バックミラーだけを凝
視して運転していたら危ない。車線変更と
か合流したりするときに見るのと同じで、
曲のテンポが変わったりするときには必ず
見ます。
大町 ●でも、あまり指揮者を真正面から
凝視しすぎると、かえって何かあるのかと
動揺させてしまう(笑)。
藤原 ●ただ、いくら信号のように規則が
あつて、各人が規則正しくリズムを刻んで
演奏しているつもりでも、大勢いますし生

ここに注目すれば オーケストラの演奏会はもっと楽しくなる!

の演奏はその時の自然の流れで進んでいる
ものですから、同じ曲を何十回、何百回演
奏しても毎回違いますね。
大町 ●そのゆらぎが逆に気持ちいいんです
よ。それがないと機械的な音楽になってし
まいます。一人一人感覚が違うので、ゆら
ぎを合わせるのには難しいですけど。
川上 ●例えば、イカダに乗って、みんなで一
斉に片方に体重をかけて瀬を渡るような
感じ。危険も大きいけれど、そこがおもしろ
い。それから、オーケストラではその場
面で一番目立つ楽器がメロディーを奏でてい
るとき、その影でそれに対向する楽器が必
ずあるんです。目立つところ以外にも少し
意識を向けると、知っている曲も今までと
は違って聴こえる。それはCDで聴いても
なかなかわからないんですよ。
藤原 ●録音した演奏がCDに編集される
と、バランスが変わっていますからね。
大町 ●関西フィルの魅力といわれている
「熱さ」も生の演奏でこそ伝わるもの。
川上 ●生だとそういう熱さや迫力といっ
た部分が何倍も鮮明に聴こえますから、

ぜひ生で聴いていただきたい!
大町 ●生のオーケストラが初めての方には
『スター・ウォーズ』『ハリポッター』などの
映画音楽がおすすです。オーケストラの
演奏を目の当たりにして知っている曲を聴
くと、この音はこの楽器が出していたんだ
と、みなさんとても感動されますよ。
川上 ●テレビや映画でもクラシックのいろん
な曲が使われていて、ちょっとマニアックなプ
ロコフィエフの『ロメオとジュリエット』も白い
犬のCMにも使われていたもので、小さな子ど
もも「これ知ってる!」と(笑)。
藤原 ●そうそう、プログラムの正式な題名
だと難しそうですけど、聴いてみると意外に
知っているなという曲は多いですよ。
川上 ●ここは知っているなという部分を足
がかりにして興味を広げていってもらえたら
いいなと思います。
藤原 ●私は大阪から滋賀に移り住んだこと
で、地域で開催されるコンサートに対する思
い入れがすごく強くなりました。その地域
地域で喜んでもらえるコンサートをこれか
らも続けていきたいですね。

